

ココタウンデイサービスセンター

症 例 概 要 利用者氏名：80代 女性 要介護1

利用期間 ：2020年5月 ～ 2021年7月（利用中）

経過：活動的な生活をされていたが、2020年2月のご主人他界に伴い、認知機能の低下が見られるようになり、コロナ禍で他者交流の機会も減ってきたことでデイサービスの利用が始まりました。入浴にて全身の広範囲の皮膚トラブル、帰宅願望や落ち着かない様子がみられましたが、ご本人の気持ちに寄り添いながら、ご家族や多職種と情報共有しながら関わることで、状態に改善がみられました。

内 容

70代後半まで自治会の活動やグランドゴルフ、麻雀等を通して、他者交流も活発でしたが、2020年2月にご主人が他界されたことに伴い、認知機能の低下が見られるようになりました。新型コロナ拡大にて他者交流の機会が減ると、娘さんの介護負担も多くなったことにより介護負担軽減とご本人の社会交流を図る為、週1回のデイサービスの利用が始まりました。

利用当初は、ルーム内を行ったり来たりと落ち着かない様子がみられ、「何をしたらいいのかわからない」「帰りたい」等と話されていました。また、入浴時には背部や腰部など広範囲に多数のひっかき傷や出血がみられ、一部は化膿している状態でした。看護師に確認し、医師の診断と薬の処方が必要であるとの判断でご家族へと連絡をとるも、介護疲れによるストレスが強く、ご家族への連絡はケアマネジャーを通して伝えるなどの対応が必要であったため、早急な受診対応ができませんでした。

そんな中、ご家族の負担とならないよう配慮しながらケアマネジャーを介しながら密な連絡をとり、皮膚トラブルの状態改善を目指しました。根気強く取り組むことにより、ご家族の理解を得られ、介護負担と皮膚トラブルの改善を目的にデイサービスの利用を週4回へと増回し、徐々に皮膚状態が改善されていきました。

現在では、帰宅願望や歩き回る様子もなく、レクリエーションの活動にも今までみることでできなかった笑顔が徐々に見えるようになりました。ご利用日の朝になるとデイサービスが待ちきれない様子で電話をしてこられるようになり、ご家族からは介護負担と皮膚状態の改善を感謝されるお言葉を頂きました。

今後も、ご本人・ご家族が安心できるデイサービスとして、その人らしい暮らしを支援できるよう取り組んで行きたいと思えます。